

館屋の太鼓

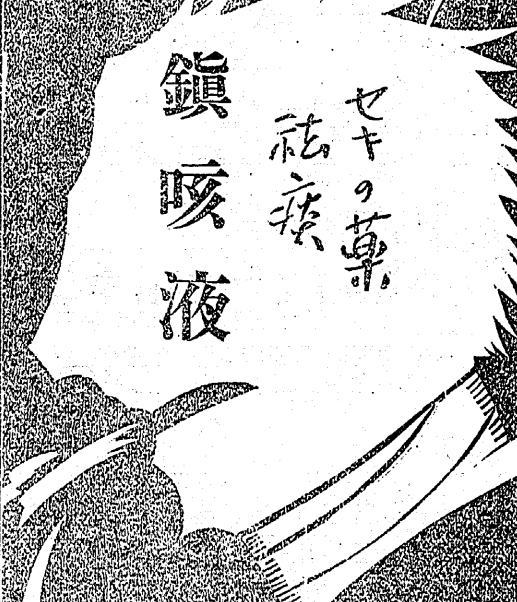
馬上好太郎
凡そ世の中が不景氣になつて世知辛くなつてくると當り前の事では暮らされなくなりその結果兎角インチキなことをして人の注目を惹こうとするやうになる、その著しいのは勿論商賣の宣傳の上に見る所だがこれもその一つ近頃の館屋なるものは昔のやうに昔と云つてもそんなに遠い昔じやないといふ数年前のやうな穏やかな所がなくなつて頗る物騒がしいものになつた。

以前は町から町を流して歩くにしても彼等特有の風俗があり、その歌詞にも卑猥はであるが一種の情調があり、それに館屋なるものは決つて別種なものを持つて決して騒々しい神経を苛ら立たせるやうなものではなかつた。

ところがいまの館屋はその仕度も千差萬別得物もとりどり半纏にむち靴、チャンチャリ半纏にむち靴、着流しに角帯兵帯服にすげ笠、大太鼓小太鼓、ドラに鉦、三味線八木節に鳴鶴江イヤその騒々しいこと、おまけに腦天の尖端から吹き出すやうな聲音に至つては物狂はしい叫びのやうなもので、どちつとしてゐられる代物は少い。

館はしやぶるもので唄を聞くものじやない、唄はおまけの景品か子供よせだ云へばそれまでだが、こゝにかんべんならんのは大の男が三人づつも組んで、てんぐに太鼓を持ち調子つけてやけに太鼓を叩きつけ廻ることである。

これでは子供のみならずおとなでも随分注目せざるを得ないが耳を聳せんばかりに打つ大鼓はとて正氣の沙汰でなく、おつばいに飽いてしまふまでまごらかに夢の國に遊んで醒まして物につかれたやうに泣き叫び親達は全くびつくりさせられる。



セキヤク薬
祛痰
鎮咳液

特約店
關内藥局
平町四丁目電話〇四番

増築落成
平町南町
門專
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番
病室完備



スポンゲル
新緑の候貴堂益々御清榮奉賀候
陳者来る五月十一日施行平町家屋税調
査委員選舉に際し人格、手腕、經歷の点に於て最適と認め馬目玉彌君を候補者に推薦し極力當選を期す事に致し候間貴下の尊き一票は是非同君に御投票被下度伏して御願申上候 敬具
昭和五年五月八日

西脇健次郎 鈴木清太郎 青木榮太郎 草野金太郎
馬目雅治 柏原義一 水野金七 原 精一
高木信太郎 山野遼大五郎 關内喜久次郎 堀 幸吉
永山富廣 久保木林之助 木澤常松 武田元之助

責任者 紺屋町四十四番 柳下元吉

新緑の候貴堂益々御清榮奉賀候
陳者来る五月十一日施行平町家屋税調
査委員選舉に際し人格、手腕、經歷の点に於て最適と認め馬目玉彌君を候補者に推薦し極力當選を期す事に致し候間貴下の尊き一票は是非同君に御投票被下度伏して御願申上候 敬具
昭和五年五月八日

創業廣告

今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會を創業いたし左記營業種目に依り親切第一主義を以て營業致す事と相成候間何卒御利用御命の程を願申上候

營業種目
燃料 木材
金融 仲立
平町白銀町
合資會社 高橋商會
代表者 高橋龜松
電話六三八番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科専門

病室完備：自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

進軍の唄

断然レコード界をリードせる好吹込
各會社レコード新譜取揃 發賣

鈴木傳明 吹込
田中絹代 吹込

平町南町 常盤時計店
電話三三九番

高久病院

平町田町(電話五二三番)

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

醫學士 高久 忠清
新瀉醫學士 赤羽 菊雄
藥劑士 佐竹 菊雄

二男峯雄儀病氣中の處六日午後八時四十五分死亡致候間此段御通知に代り謹告仕候

追て送葬の儀は八日午後三時自宅出棺 良善寺に於て佛式により執行可仕候
昭和五年五月六日
平町字古銀治町
水野虎三郎
外親戚一同

久遠の像

日活・松竹・ユニヴァーサル名畫
松竹現代派大作品
婦人俱樂部所載
岩田祐吉・八雲惠美子 主演
助演……小櫻葉子・奈良真養・林千歳
ユニヴァーサル・カール・レムレ提供
ジョージ・シルズ氏 主演

大學生活

日活超々大作映畫
澤田 清・櫻井京子 主演
助演……川上彌生・高瀬 實・實川延一郎

千丈の紅戀

大河内傳次郎主演 劍を越えて
五月八日替り 普通 高級 常設
料金 常設 高級 常設
電話 六六六

元新妻眼科醫院跡(病室付き)

(平町紺屋町四三番地)
左記に御相談下さい
平町紺屋町(電話六五二番)
玉川屋酒店